

講義・演習概要（シラバス）

第1部課程第120期（平成25年4月9日～平成25年9月4日）

課 目 名	財政学
時 限 数	8 時限
担 当 講 師	立教大学経済学部教授 池上 岳彦 ＜プロフィール＞ 1982 年，東北大学法学部卒業。1991 年，東北大学より博士（経済学）の学位を取得。新潟大学商業短期大学部講師・助教授，同経済学部助教授・教授を経て，1999 年より立教大学経済学部教授。 主な著書に『分権化と地方財政』（岩波書店，2004 年），『地方税制改革』（編著。ぎょうせい，2004 年），『地方交付税・何が問題か』（共編著。東洋経済新報社，2003 年），『租税の財政社会学』（共編著。税務経理協会，2009 年）がある。
ね ら い	公共部門の活動に必要な経費を算定したうえで，そのための財源を租税として調達する活動が財政である。本課目では，国際的にみた日本財政の特徴及び当面する課題に焦点を当てつつ，財政改革の課題を明らかにする。
講 義 概 要	1. 財政とは何か 社会と財政 市場と財政 現代財政の課題 2. 財政の国際比較 財政構造の類型化 日本財政の特徴 3. 「大きな政府」と「小さな政府」 なぜ財政は膨張してきたか 財政規模の相違はなぜ生じるか 4. 租税の原則と制度 租税原則 包括的所得税の原則と実態 5. 日本税制の特徴と改革 所得税 法人税 消費税 資産課税 6. 地方分権と財政制度 政府間の事務配分 税源配分 財政調整制度 7. 財政危機の条件 公債累積の意味 対外債務 地域経済統合 政府への信頼 8. 財政再建の意味と手法 社会保障改革との関連 財政再建の手法
受講上の注意	とくになし。
使 用 教 材	配付するレジュメ・資料に沿って講義する。 [参考]神野直彦・池上岳彦編『租税の財政社会学』（税務経理協会，2009 年）。 SGCIME 編『[増補新版]現代経済の解説』（御茶の水書房，2013 年）第 12 章。
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	地方税財政制度関連課目との関係に留意すること。